

チョコっと統計

2月14日はバレンタインデーです。

親しい人にチョコを贈られた方も多いのではないのでしょうか。これにちなんで、家計調査（二人以上の世帯）の結果を基に、チョコレートへの支出について見てみましょう。

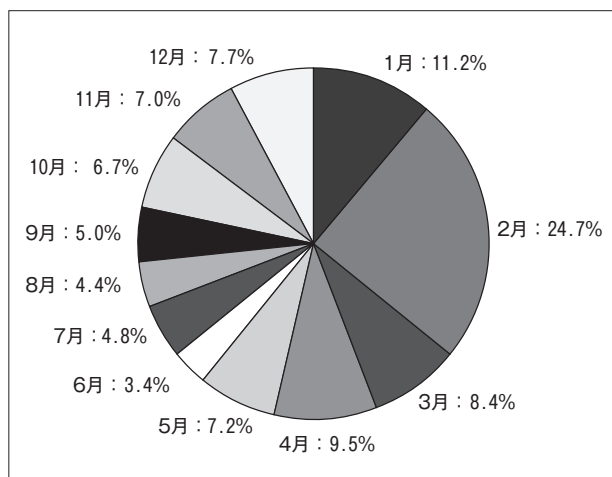
京都市において、平成26年の1世帯当たりのチョコレートへの年間支出金額に対する月別の支出割合をみると、1年の中で2月が最も高く、24.7%（支出金額は1481円）を占めています。（図1）

次に、日本全国において、2月のチョコレートへの日別支出金額をみると、バレンタインデーの前日に当たる2月13日の支出が148円と最も多く、次いで、11日、12日、14日となり、この4日間で2月の支出金額の38.2%を占めています。（図2）

また、都道府県庁所在地・政令指定都市別に1世帯当たりのチョコレートへの年間支出金額をみると、京都市は5998円で52都市中第9位となっています。（図3）

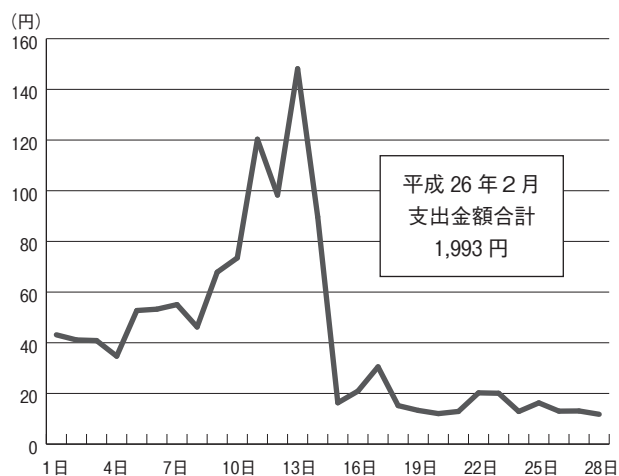
既製のチョコもおいしいですが、手作りのチョコも嬉しいものですね。
皆さんはチョコを作られましたか？

図1 平成26年 1世帯当たりのチョコレートへの月別支出割合（京都市）



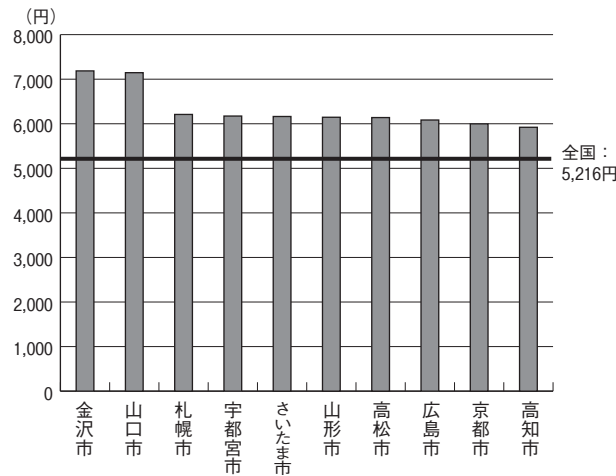
出典：家計調査（二人以上の世帯）（総務省）

図2 1世帯当たり日別のチョコレート支出金額（平成26年2月 全国）



出典：家計調査（二人以上の世帯）（総務省）

図3 平成26年 1世帯当たりのチョコレートへの年間支出金額（上位10位）（都道府県庁所在地・政令指定都市）



出典：家計調査（二人以上の世帯）（総務省）